

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議員の政策立案能力強化事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	議会事務局			
施策	6-3	地方分権・広域行政への取組		主管課長	玉田 雅則			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市議会議員	意図	市議会議員の政策立案能力の向上を図る。
事業内容	議会において政策立案に関する研修会を実施し、議員の政策立案能力の更なる向上を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	1 千葉県市議会議長会主催の議員合同研修会に毎年参加 (1) 千葉県市議会議長会第4ブロック議員合同研修会 (2) 千葉県市議会議長会議長研修会 2 流山市議会主催の立案能力議員研修会に毎年参加			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）			
	①	千葉県市議会主催の研修会	25	27	28	人	→→	議長会第4ブロック議員合同研修会参加者数		
②	流山市議会主催の研修会	66	195	71	人	→→	議会基本条例に基づく議員研修会参加者数			
③										
④										
⑤										
⑥										
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度						
事務事業の総コスト(a=b+c)		691,000	753,000	686,500						
事業費(b)(円)										
うち一般財源										
職員給与費(c)(円)										
人役・職員(人)								0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)										
人役・嘱託(人)										
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）										
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）										

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	市議会主催研修会は適切なテーマ設定を行い、研修会の周知を図っていく。	③取組の課題	議会の活動に関係が深く、且つ市民の関心がある研修会のテーマ設定が難しい。
②今年度(H28)に実施した取組	議会主催研修会を1テーマで実施したため、3テーマで開催した前年よりも参加者数が減少した。	④今後の改善計画	議会主催研修会は適切なテーマ設定を行い、研修会の周知を図っていく。